

県政レポート No.26 <2025.3.21 高橋淳事務所発行>

山形県議会議員 **高橋 淳** (鶴岡市選挙区・無所属)



【令和7年度所属委員等】※県政クラブ会派(総務会長)

○商工労働観光常任委員会 / ○予算特別委員会 / ○再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会(副委員長) 他

【高橋淳事務所】〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1 TEL:(0235)26-8731 / FAX:(0235)26-8732

E-mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com / →日頃の活動等はQRコードを参照ください(Facebook 及びホームページ)

山形県議会 2 月定例会が閉会!

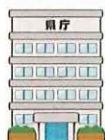
県議会 2 月定例会(令和6年度補正予算案)の概要は、①物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援、②避難所用テント式パーティション整備を含む災害・諸課題への対応等、③国庫内示に伴う公共事業の追加等などや執行実績等に基づく減額等により、**一般会計補正後予算額 7,326 億 2,600 万円**を本会議で可決しました。



※主な事業の概要は、生活困窮者等に対して食料品等を提供するフードバンク活動への支援や家庭、事業所における再エネ設備等の導入への支援(太陽光発電蓄電池設備、木質バイオマスストーブ等)、省エネ家電買換えキャンペーンの実施、学校給食の食材購入費の上昇分の助成、防犯用品購入キャンペーンの実施、医療機関・社会福祉施設への物価高騰支援、中小企業まるっとサポート補助金や電気料金高騰支援(特別高圧受電)などです。※詳しくは県 HP をご参照ください。

2025 年度一般会計予算総額 6,754 億円

令和7年度は、**～やまがた“みらい共創”予算～**とし、一般会計予算総額 **6,754 億 (経済対策635億円)**です。



大きな柱として、①中長期を見据えた「人口減少対策」の強化、②時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」、③様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」です。

なお、5期目をスタートした吉村県政では、過去4番目に大きな予算規模となりました。

※東北6県の新年度当初予算案では、①福島、②宮城、③岩手、④青森、⑤山形、⑥秋田県の順となっています。

山形県財政の中期展望について

令和7年度一般会計当初予算案では、県税や地方交付税が増加となった一方で、社会保障関係経費や自然災害などのリスク対応などにより多額の財源不足が生じました。これらに対し歳入確保と歳出削減に努め、なお、不足する180億円については調整基金を取り崩し、収支の均衡を図ったところです。

今後の「**山形県財政の中期展望**」は、一定の経済成長が見込まれたとしても、金利の上昇に伴う公債費の増加や社会保障関係経費が高い水準で推移する事などにより、ここ数年は引き続き多額の財源不足(▲150 億～200 億程度)が生じるものと見込まれています。

知事への政策提言などが県政に!

新年度予算については、昨年度にプロジェクトを立ち上げた、**県政クラブ「やまがた農林水産所得向上・元気戦略会議」**(座長:高橋淳)での知事への政策提言(**スピードスプレーや導入等**)。



そして、県議会9月定例会の予算特別委員会の総括質疑等が新年度予算



(**警察車両 SUV の整備、看護師2交代制勤務の導入に向けた試行の実施など**)。併せて、やま

がたフルーツ 150 周年事業(**やまがた紅王の学校給食での提供**)も新規予算として盛り込まれました。

歯科口腔保健活動の要望書手交!

山形県歯科医師会並びに鶴岡地区歯科医師会から要望書を頂いていた「歯科口腔保健の向上」などを県側に手交しました。

その後、健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課と、「県側の支援、国民皆歯科健診の推進、歯科衛生士の確保、奨学金制度など」の要望等についてヒアリングを実施したところです。

引き続き、健康増進の為に歯科健診の受診率向上につながる事業展開等を図って参ります。

山形県副知事に高橋徹氏を選任!!

3月17日、吉村県知事から予算案件2件(繰越明許費等)及び人事案件3件(選任・任命)が追加提案されました。

平山雅之副知事の辞任に伴い、その後任として環境エネルギー部長の高橋徹氏(59歳)を選任。また、高橋広樹教育長の任期満了に伴い元県立山形東高校長の須貝英彦氏(61歳)を任命。

そして、山形県監査委員の選任については、松田義彦委員の任期満了に伴い、健康福祉部長の柴田優氏(59歳)を選任し、3月18日の本会議で人事案件が承認されました。

県議会正副議長選挙・所属変更

定例会最終日に県議会の正副議長選挙が行われ、自民党の田澤伸一氏が県議会議長に当選し、副議長には楳津博士氏です。

また、新年度の所属変更等を行い、各委員会の正副委員長を互選しました。私は新年度、商工労働観光常任委員会に所属となります。

第7次 山形県教育振興計画!

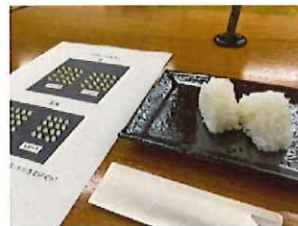
山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱及び「第7次山形県教育振興計画」が示されました。

目標は、「ウェルビーイング」を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくりです。



水稻新品種「山形 142 号」採用!

地球温暖化の影響により、生産者から高温に強い水稻新品種の導入が強く求められており、県議会でも一般質問をさせていただきましたが、山形県では「山形 142 号」を県の奨励する品種として採用することを決定いたしました。



河川整備・工事等の要望書手交!

昨年の大雨災害等により、藤島地域の「千原・関根集落」において、河川堤防越水により住宅の床上・床下浸水の被害が十数戸発生しました。

昨年末に東栄地区町内会長会・自治振興会等と共に、庄内総合支庁の佐藤建設部長に要望書を手交し、併せて、1月13日には、三和町内会長などと庄内総合支庁側に要望書を手交したところです。

また、温海地域の菅野代などの河川工事は、昨春に浚渫工事等を終え、今年度、藤島・櫛引地域などの「河川流下能力向上・持続化対策事業」が行われる予定です。



県議会レポートあとかき

本県の人口は全国平均よりも速いペースで減少しており、2025年中に100万人を割ると見込まれています。

人口減少が本県の将来に与える影響が山積しておりますが、県民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、引き続き、現場主義、県民視点を重視した政治活動を行って参ります。

※県内の児童・生徒の減少によって、学校の統廃合が進み、小学校、中学校・高等学校の学校数が減少傾向にあります。

特に小学校は、平成25年から令和5年までの10年間で292校から223校へと23.6%減少しました。

少子化は、スポーツや文化活動の機会の減少につながり、興味や才能を育てる機会が失われる恐れがあります。